

だれにも当てはまる日常のできごとを
人間味のあるあるがままの目でユーモラスに綴る

CL diary #41

むーらん



4月13日（金）

よく行くコンビニエンスストアで働いている男の子は、とても気さくで、挨拶はもちろん、よく話しかけてくれる。私は、高校生・大学生くらいの若い男性は苦手で、駅などで、よくグループを作っているけれど、立派な体格で迫力はあるし、急に大きな声を出すし心臓に悪い…。だから、若い男性のグループを見ると、思わず避けていた。でもコンビニの彼のおかげで、そういうイメージがすこし変わったみたい。今夜、彼はごみ置き場のところにおいて「こんばんは」と声をかけると、「外から持ち込まれるごみがすごく多いんですよ」と嘆いていた。

それでも彼は仕事に一所懸命で、がんばって！とってしまう。

4月23日（月）

今日は朝から病院で診察を受けたあと、午後から出勤させてもらおうと職場に連絡しておいた。12時25分発の電車に乗ればちょうど午後からの仕事に間にあうよね。駅前スーパー内の薬局で薬をもらい、電車の時間まで、すこし時間を過ごしたあと、駅に行って驚いた。25分発の電車がいない！駅員さんに訊くと「ああ、あれは休日だけで…。すみません」次の電車だと間に合わない。

職場にはすぐ連絡したが、平日と休日で時刻表が違うことは知っているし、その時刻表もしょっちゅう見ているつもりだが、平日には電車が一本なくなっているなんて、全然気がつかなかった。

5月15日（火）

駅から職場まで続く歩道のつつじの木が満開になった。何日か前の朝、その中に1本だけ牡丹の花が咲いているのを見つけた。どうして、1本だけ…？誰かが植えたのかな？それがとてもきれいで、写真を撮っておきたいなと、ふと思った。でも今は時間がないし…。何日か前にそう思っていたことを、今朝思い出して、牡丹の花を探すが、もうどこにも見つからない。すぐに行動しないまま、花は終わってしまったみたい…。

5月21日（月）

今日は金環日蝕の日。今日まで、近くのどの店でも日蝕グラスを売っているのを見かけた。私も買っておこうかな…と思ったけれど、たった一度のために、安いものではないし、当日晴れるかどうかもわからないし…と買わないでおいた。ところが、今朝になったらよく晴れていて…。私も日蝕を見てみたい！でも、グラスがなく見られない私は、貴重な一瞬を逃してしまったようで、こんなことなら、やっぱりグラスを買っておけばよかった。

5月25日（金）

今日から職場で、私が担当する、ある補助金の受付が始まる。市民のかたが持ってこられた書類を確認して、不足があれば、あらためて用意してもらうよう、メモして渡さなければならない。私と、臨時で来てもらっている女性と、ふたりで受付を担当する。その彼女に、初めて受付をしてもらったあと、どうでした？と訊くと「お客さんの前だと、手が震えて字が書けないですね…」と。

まるで私と同じ。こんなことを気にするのは私だけかと思っていたのに。

6月5日（火）

仕事をするのに、すこし広い場所が必要になった。どこか使える部屋はないかな、と小さい会議室を覗いてみた。すると、私の上司である係長が、ひとりで座っていて、紙に書かれた原稿を、声に出して読んでいた。今日の午後は、たしか、各係が担当する仕事について、部長に説明する予定だったな。係長が私に気がついて「どうしたんや？」と。「あ、いいえ」とすぐにドアを閉めたが、ほんとうは、係長の、隠れて努力する姿に見とれていたのですよ。

6月30日（土）

母が急に入院してしまい、今日は母の病院へ。私は朝からなんとなく変な感じだったのだが、母の病室に着くと、いよいよ気分が悪くなってきた。看護師さんに伝えると、あっという間に大勢の看護師さんが集まってきて、動けなくなっている私を、処置室まで運んでくださった。お医者さんの診察のあと、看護師さんが「まだ、しんどそうだから、どうぞ休んでいってください」と。しばらく休ませてもらい、すっかり気分もよくなり、母のところへ。母から聞いた話では、もし感染症だったらいけないので、私のいたところはすべて消毒してくださったそう。それにしても、具合が悪くなったのが、外とかでなく、救命救急センターの病棟でよかった。

お見舞いに行った家族が倒れるなんて、まるで笑い話だけれど、ERのかたにはずいぶんお世話になって、もう私これから足を向けて寝られない…。

7月1日（日）

母が入院してしまったので、今日は実家の様子を見に行った。父はまったく家事をしないので、一週間で洗濯物が山のようにたまってた。ほかにも皿洗いや掃除、ごみ出し、こねこ2匹の世話など。全部片付けるのに半日以上かかり、終わったらもうぐったり。ふだん私はひとりなので、今まで自分の身の回りのことだけしかしていなかったから。母に洗ってもらったお皿の数は、頭で考えて数えてみたことはあるけれど、母の仕事の大変さを、この歳になって、初めて実感できたみたい。

（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）